



2月18日 東地申第34号「2025年3月ダイヤ改正等について」の申し入れ

「中野統括センター 中野北乗務ユニット」団体交渉を行う！ その1

【行路】 1. 終夜臨に対する行路については全て臨行路対応とし、基本行路での変行路対応はしないこと。

回答: 臨時列車の行路については、運転計画の決定の都度指定していくこととなる。

【列車ダイヤ】 3. 終夜運転において多客による積み残しが多数発生していることから、列車本数や輸送体系の検証と見直しを図ること。

回答: 引き続き、お客さまのご利用状況を把握し、必要な臨時列車は設定していく考えである。

【その他】 2. 終夜臨にともなう取り扱いの変更や追加が生じる時は全社員に対して教育もしくは周知を確実に図ること。

回答: 必要な教育・周知は行っているところである。

### 組合

- ◆ なぜ、臨行路ではなく変行路としたのか。
- ◆ 今年の終夜臨の利用実績はどうだったのか。また、遅れは把握しているのか。
- ◆ 9848Bを担当したが、新宿発車時点で1000名程、水道橋で積み残しが出た。御茶ノ水では乗るのを躊躇うお客さまがいた。列車本数が少なかったのではないか。
- ◆ 変行路で延長になって遅くまで乗って辛かったと声が出ている。要員を確保した上で、臨行路で対応すること。
- ◆ 12月の訓練で終夜臨の関係やそれに伴う取り扱いなどが何も周知されていない。指導担当は当日担当する乗務員に個別で伝えると言っていたが、これでよいのか。
- ◆ 現場は個別で担当者に指導すれば問題ないという認識で全体には周知はしていないが、首都圏本部もそれで問題ないという認識か。

### リスクを踏まえると 全乗務員に周知すべきだ！

- ◆ 個別で周知をすると、周知をされずに乗務する乗務員が発生する。周知されていない人が作業にあたった場合に取り扱いを誤った場合に責任を問うのか。
- ◆ 私たちは取扱不良など乗務員に事故を起こさせたくないから言っている。現場に訓練のやり方も含めて伝えること。

### 会社

- ◆ すべての行路を臨行路とすると膨大な人数が必要になってしまう。今回は3日勤で対応したが、全て臨行路だと3徹2日勤必要になり、波動要員もないことから負担にならないように設定した。
- ◆ 利用状況は様々だが、一部の列車で朝通勤帯と同程度かそれ以上だった。一部の列車で遅れがあったことは把握している。
- ◆ イベントで何万人来るといのが分かっていたら予測して列車設定が出来るが、全てを把握しきれなかった。ご利用状況やイベントなどを確認しつつ、検討をしていく。
- ◆ 日跨ぎになってしまい勤務操配が難しくなる。明けを早く終わらせるなど救済も行ったが、全てが救済出来たわけではないのは課題である。出来る限り乗務員の負担にならない行路作成を行っていく。
- ◆ 全体の訓練で大まかな周知は出来ることが望ましい。現場からは漏れのないように周知・教育は行ったと聞いている。
- ◆ 終夜臨は全員担当するわけではないので、基本的に乗務される人に周知・教育することが前提である。定例訓練で全員にマストで周知することではない。しかし、運用変更や異常時など違う列車を担当することはあるので、リスクも踏まえながら幅広く周知する必要はある。ただ、全員一律という認識ではない。
- ◆ 周知されておらず、出来なかったことに対して責任を問うことはない。 **確認!!**
- ◆ 事故を起こさせたくないのは同じ認識である。引き続き、より良い訓練になるよう現場とコミュニケーションを取りながら進めていく。



2月18日 東地申第34号「2025年3月ダイヤ改正等について」の申し入れ

「中野統括センター 中野北乗務ユニット」団体交渉を行う！ その2

【行路】2. 制度改正に伴い育児介護者の行路運営を今後どのようにしていくのか明らかにすること。

回答:短時間行路については、線区ごとの輸送形態や箇所の実態に応じて設定している。

組合

- ◆ 4月から制度が変わる中で分割行路を増やさなくてはならないと考えるが。
- ◆ 制度の利用を考えている人が、説明会がなくTeamsでの周知のみで不安を感じている。コミュニケーションを取って不安なく利用できるようにすること。

会社

- ◆ どれだけ取得者がいるのかわかりませんが、我々も正直数字が見えない。とは言っても今まで以上に行路が必要ではないかということで行路は作成している。
- ◆ 不安なく利用できるようにコミュニケーションを取っていきよう現場には伝えていく。 **確認!!**

【列車ダイヤ】1. 今ダイヤ改正における、運転時分と停車時分の変更点を明らかにすること。

回答:今ダイヤ改正では、ご利用状況や今後予定されているホームドア導入を考慮し、運転時分や停車時分を変更したものである。

組合

- ◆ 変更点は何か。
- ◆ ホームドアの開閉に時間が掛かり+5秒では足りない認識である。ホームドア設置後も検証を行うこと。

会社

- ◆ 中野～三鷹間、津田沼～千葉間でホームドアの設置やご利用状況を鑑み、停車時分、運転時分を変更。
- ◆ 決してこれで終わりではないと考えている。引き続き、確認していく。

【列車ダイヤ】2. 朝の三鷹での入区列車は基本1番線から入区させること。

回答:列車ダイヤは、お客さまのご利用状況や車両運用、設備条件等を考慮し設定している。

組合

- ◆ 特に707C、713B、701Bについては1番線からの入区とすること。

会社

- ◆ 様々、考慮を行いながら可能な限り対応していきたい。

【取り扱い関係】1. B線場面の朝通勤時間帯における混雑対策として船橋駅、西船橋駅、小岩駅～浅草橋駅にて努めて乗降終了表示を掲出すること。

回答:現時点で、乗降終了表示を表示する考えはないと聞いている。引き続き、状況は把握していく考えである。

組合

- ◆ この間、求め続けているがどうなっているのか。
- ◆ 朝の利用者は増えている。検討すること。

会社

- ◆ 現時点では検討していない。ただし、混雑などで安全性が阻害される場合は掲出を要請してほしい。
- ◆ 増えている認識だ。引き続き状況は把握していく。

【設備関係】1. 浅草橋駅B線にITVを新設すること。

回答:現時点で、浅草橋駅B線にITVを新設する計画はない。

組合

- ◆ この間、求めてきているが現状は。
- ◆ 管理者や指導担当に意見を聞くのはよいが、一番使っている社員の声を聞くこと。

会社

- ◆ 現時点ではITVを新設する計画はない。
- ◆ 一番使っている人たちの感じていることを聞きながら、順位を付けて改修していく考えだ。 **確認!!**

「ITVを使うのは車掌だ!車掌の意見をしっかり反映させることが安全につながる!」

その3へ



2月18日 東地申第34号「2025年3月ダイヤ改正等について」の申し入れ

「中野統括センター 中野北乗務ユニット」団体交渉を行う！ その3

【設備関係】 2. 千葉駅蘇我方ホーム端に仮設トイレを設置すること。

回答:現時点で、千葉駅蘇我方ホーム端に仮設トイレを設置する考えはないと聞いている。

組合

- ◆ 一つだけでは到底足りない。列車を止めればよいと言うが、お客さまからの目などプレッシャーを感じている。千葉支社には強く要請すること。
- ◆ 設置しない理由は何か。

会社

- ◆ そのような意見があることは千葉支社には伝えている。
- ◆ 以前テンポラリースタッフやグリーンアテンダントも使用していたが、昨年11月頃から使わなくなり、総合的に判断し今の状態になっていると聞いている。

【設備関係】 3. E231系の乗務員室内の冷暖房装置の強化を行い健康的に乗務できる執務環境を整えること。

回答:現時点で、冷暖房装置の強化を行う計画はない。なお、引き続き状況を把握していく考えである。

組合

- ◆ 風量を上げるなど、具体的な解決策を何か検討しているのか。
- ◆ 現場ではワイシャツにかけると冷却スプレーなどの対策をやっているが、装置を変えられないのであれば、首都圏本部として代替りのものを検討すること。

会社

- ◆ 取り換えるとなると車両構造にも影響してしまうため難しい。
- ◆ 現場で対策を取り組んでいるのは聞いている。車両部門とも協力して何か出来ることはないか検討していく。

【設備関係】 4. 代々木駅A線のITVを4画面に増設もしくは閉扉時機能図機の設置または立番位置の変更を行うこと。

回答:現時点で、代々木駅A線のITVを4画面へ増設することや閉扉時機能図器を設置する計画はない。また、駅社員の立哨位置を変更する予定はないが、引き続き状況を把握していく考えである。

組合

- ◆ 検証交渉でも議論し、立番の位置は変更できないということだが、安全なドア扱いが出来るように具体的に検討していることはあるのか。
- ◆ 立番位置が変更できないなら、設備で対応するしかない。現地の状況を車掌目線で確認し検討すること。

会社

- ◆ 設備は優先順位をつけて整備している。現在、ITV3画面があり、安全なドア扱いが出来て、お客さまの引きずりや挟まりが起きないような画角である。
- ◆ 現地を見て確認することは大切だと思っている。必要なものであれば整備することは変わらない。状況を確認しながら設備整備は計画していく。

【その他】 1. E235系の導入時期を明らかにすること。

回答:現時点で、E235系の中央・総武緩行線への導入時期は未定である。

組合

- ◆ 訓練なども必要なことから、スケジュールが決まり次第、現場に伝えること。
- ◆ 導入するにあたって現存の設備等に変更は。
- ◆ 乗員室扉の位置が今までより前になり、ITVが見えづらくなる。確認した上で改善を行うこと。

会社

- ◆ 営業運転には乗務員に必要な訓練を受けていただく必要がある。しかるべき時期に現場には情報を伝えていく。
- ◆ 現状では聞いていない。
- ◆ その点は認識している。現状の設備で対応できるのか検討を行い、必要であれば、改善する。

安全で働きやすい環境を実現するために、職場からの検証運動をつくりだそう！